

職員による自己評価

A環境面

- ・室内での安全確保（災害時を含む）・けが防止の措置が不十分である。
- ・研修は行われているが日々の業務に活かされていらない。
- ・職員配置に余裕のないことがある。（特に送迎時間帯）
- ・静養室等の既存設備を活かせていない。

B児童への支援内容

- ・一人ひとりへの支援について話し合いが不十分である。
- ・療育等プログラムのレポーターが足りていない。
- ・支援の方向性が統一されていない時がある。

C関係機関との連携

- ・近隣の方との関りが弱い。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・HP や送迎時に日々のご様子をお伝えしている。
- ・保護者会を実施できていない

E非常対応

- ・作っているが実際に機能するのか不安がある。
- ・話し合い止まりなってしまうものもある。

保護者による評価

A環境面

- ・職員の専門性や配置について更なる充実を望んでいる。

B児童への支援内容

- ・療育やレクリエーションなどの活動が良い評価を受けている。
- レクリエーションについては更なる充実を期待されている。
- ・楽しんで通っている。（回答多数）

C事業所からの情報発信

- ・日々の情報発信やご家族との意思疎通は良い評価をいただいている。
- ・父母会や保護者同士の連携についてサポートされていないと感じている。

D非常対応

- ・避難訓練やマニュアルが周知されていない。
- ・避難訓練やマニュアルがあるのかよく知らない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・職員配置や専門性の充実を望む声一致している。
- ・レクリエーションや療育プログラムの更なる充実といった点が一致している。
- ・送迎時やHPなどで日々の様子をお知らせしようという点は伝わっている。
- ・保護者同士の連携を助ける働きはできていない。
- ・非常対応について周知が不十分になっている。

【相違点】

- ・室内の安全確保・設備の利用について改善したいと職員が考えている。
- ・一人ひとりの支援についてより深いものにしていきたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・日々のご様子を保護者の方へ伝える手段を複数持っている。(HP、連絡帳、新聞、送迎時、面談)
- ・レクリエーションや療育プログラムがあり、それについての検討を行っている。
- ・職員が店舗の改善に対して関心が高い。

事業所の改善点

- ・安全確保のための室内設備の見直し、点検。オペレーションの改善。
- ・配置の充実、専門性を高める。
- ・近隣の方との接点を増やす。
- ・非常時対応の周知。

事業所の改善への取り組み

- ・安全確保 → 設備・備品に危険がないか確認、殺菌・消毒を強化（掃除の手順変更）、災害時の動きを確認する。
- ・専門性の確保 → 月ごとの研修について振り返りの時間を確保する。
- 配置について → 送迎時間など事前に職員間で配置を確認する。
- ・近隣の方との接点 → 営業活動の強化。地域のイベントへの参加。
- ・非常時対応の周知 → 保護者向けの避難時マニュアル（簡略版）の作成。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所の改善点について職員が話し合うことはありますが、他者からの評価とともに自分たちの活動を振り返る機会というのはなかなかなく、とても良い機会となりました。保護者の方からのアンケート(2019/9実施)にもとても暖かい言葉が多く、職員一同、支援への想いをより強いものにできたと感じます。